

耳鼻咽喉科

研修目標

耳鼻咽喉科における基本的な考え方及び技術を身につける。

研修内容

1) 一般的診療に関する基本的知識、手技の修得

①患者のバイタルサイン、意識レベル、精神状態を把握できる。

②胸部、腹部の聴・打診を行うことができる。

③次の各検査を自ら実施し結果を評価できる。

検尿、血算、出血・凝固時間、血液型判定、交叉適合試験、動脈血ガス分析、細菌検査（検体採取）、心電図、脳神経検査、髄液検査（腰椎穿刺）

④次の検査を指示し、結果を評価できる。

肝機能、腎機能、電解質、その他のルーチン検査の範囲の血液生化学、免疫学、内分泌検査、呼吸機能、胸部X線

⑤必要に応じてその他の全身的検査、他科領域の専門的検査を指示し、依頼できる。

⑥診断書、証明書の社会的意味を理解し、指導医のもとで適切な内容を作製できる。

⑦医療保険システムについて理解する。

2) 耳鼻咽喉科研修の内容と目標

①耳鼻咽喉科領域の解剖、生理の理解

②外来診療に必要な診察手技、各種検査の適応及び判定、処置、簡易手術

③耳鼻咽喉科領域の各種精密検査の実施と判定技術

④耳鼻咽喉科領域の救急処置

⑤入院患者の管理

⑥手術の理解と実施（助手としての参加を含む）

⑦耳鼻咽喉科医の社会的役割の自覚と参加

⑧学術的活動の実施

5 評価表

自己評価、指導医評価を3段階で行う。